

青中NEWS

「県知事を囲んでの集い」4年ぶりの福山開催 ～湯崎広島県知事、「働き方改革の推進と県の支援策」について語る～

広島県中央会(会長 伊藤學人)及び広島県青年中央会(会長 田口裕司)は、11月6日、社団法人福山労働会館「みやび」にてこの会を開催。

当事業は昭和52年から続く青年中央会の伝統行事であり、知事より直接講演をいただくことで、若手後継者や青年経営者にとって、今後の企業経営や中小企業組合活動の参考となっている。福山市での開催は4年ぶりであり、昨年を上回る組合青年部関係者等約60名が出席した。



田口会長挨拶



湯崎広島県知事

伊藤中央会会長及び田口青年中央会会長より主催者挨拶が行われた後、湯崎知事より「働き方改革の推進と広島県が実施する人手不足対策、移住支援等について」をテーマに講演が行われた。

湯崎知事は「広島県では、『仕事でチャレンジ！暮らしをエンジョイ！活気あふれる広島県』を目指す姿として掲げ、仕事と暮らしの両方を充実させる『欲張りなライフスタイル』の実現が経済、人、暮らし、地域の全てに好循環を与え、そのためには、働き方改革の推進がキーであると考えている。

働き方改革が進むことによって、社員の満足度、生産性、企業価値が上がり、それが人材確保、収益の向上に繋がっていく。県内の働き方改革実施企業は増加傾向であるが、未認知、未実施の企業はまだ多い。県としては優良事例や認定企業見える化や情報発信のほか、企業経営者を対象とした働き方改革の勉強会、イクボスの普及拡大、外部機関の専門家によるアドバイス等を通して、企業が働き方改革を推進していくための行動の後押しをしていきたい。

また、少子高齢化に伴う生産年齢人口減少の中、特に女性の活躍促進が重要であると考えており、女性管理者登用に



湯崎知事による講演風景

関するセミナーや交流会、退職後の再就職支援など、オール広島で女性の活躍促進を応援する土壌を作っている。

その他、人の集まりや定着、人材確保を図るため、東京での移住・定住窓口の設置や県外学生への広島県内企業の情報発信、U/IJターンの促進を目的としたマッチング機会の充実などを行い、県内人口の社会減に対策を講じている。広島県は都市と自然が近い点が魅力であると考えており、『働いてよかった』と心から思える広島県を一緒に実現させて行きましょう』と語られた。

また、その後の質疑応答では、参加者からの質問にも丁寧にわかりやすくお答えいただいた。

講演会終了後の懇親会では、湯崎知事にもご臨席いただき、各テーブルを回っていただいた。参加者にとっては組合青年部の活動内容、自社、業界の現状や抱える課題等を湯崎知事に直接伝え、近い距離で交流を図ることができた。



懇親会風景